

医療連携だより

7月24日(月)から始まります

MRI更新・全身MRIによるがん検診のご案内

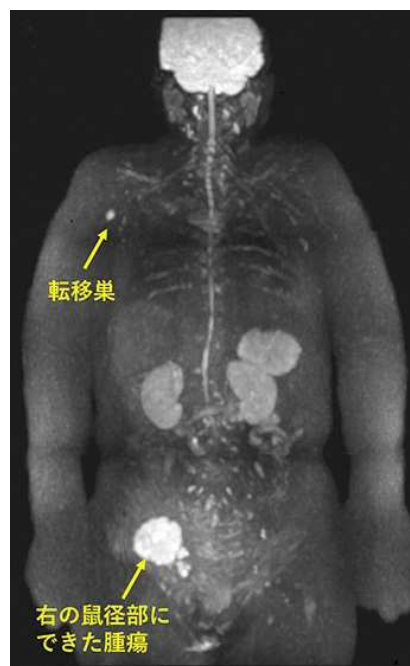
診療部長 尾形昌哉

当院ではMRIを脳梗塞などの救急疾患、肝胆道疾患、腰椎ヘルニアや脊柱管狭窄症などの整形疾患、各種がん診断やステージングなどに使用していましたが、前機種は約13年の使用で相対的性能低下、故障リスクや保守費用増加などがあり、2023年4月に新機種に更新しております。

更新によって、画像の質的向上や時間短縮だけでなく、従来機種では難しかった全身MRI（DWIBS: ドゥイブス）にも対応できるようになったため実臨床において、がんの全身転移巣の検索や治療後の再発チェック、化学療法後の治療効果判定のほか、当院で出来なくなっていた骨シンチの代替検査も可能となりました。一方マイナス面として消化器内科や整形外科の常勤医が不在となり一時期に比べて検査数が減少していたことから、更新前からあためていたプランである全身MRI（DWIBS）によるがん検診を7月24日から開始することになりました。

東北地方ではDWIBSによる乳がん検診は数力所で行われているものの、一般的ながん検診はPET-CTが主体でDWIBSではほとんど行われていないと思います。当院の実際の運用としてはDWI（拡散強調画像）だけでなく読影に必要な全身のT2強調画像やT1強調画像などもいっしょに撮影しておりますが、DWIBSはPET-CTと同等の精度（感度や特異度）との報告があり、PETと比較すると尿路系に強く肺や消化管がやや苦手になるようです。

一方でPET-CTと違って被ばくがなく、検査時間が短い（注射時間を含めてPET-CTは約3時間で検査後も放射能が下がるまで待機が必要、注射のないDWIBSは30分程度で検査後の待機も必要ない）、食事制限の必要がない、糖尿病の方も検査が可能、検査費用が安い（PET-CTは約8～10万円、DWIBSは約3.5万円～8万円、機器の性能や立地などで幅あり）などのメリットがあります。



裏面につづく

当院ではDWIBSによるがん検診で全国的に実績のあるフィリップス社の1.5テスラの最新機種を導入のうえ、検診価格を税込み4万円に設定し、放射線専門医が遠隔読影したレポートを患者様にも分かりやすく作成してから提供しております。

ご希望の方にはDWIBSが苦手とする肺がんチェックを行うため、低線量CTによる肺がん検診（税込み12,320円、単独検査も可）を提供。あわせて大腸内視鏡の負担軽減を目的に大腸CTによる大腸がん検診（税込み3.5万円）も開始しております。

ホームページより内容や予約の詳細確認が可能です。ご興味がある方はぜひご覧ください。

【お申込み、お問い合わせ先】
0197-25-3833（代表）

健診について

健康管理科（内線603・604 平日13時～15時 / FAX 0197-24-9091）

患者様のご紹介について

医療連携室（内線257 / FAX0197-25-4012）

※保険点数など運用上の観点より、受託検査による全身MRIは行うことが出来ません。臨床的にがんが確定していて転移巣や再発巣、治療効果判定を希望される場合は各診療科へご紹介ください。

～当院ホームページにて内容や予約の詳細が確認できます。ぜひご覧ください。～



▶当院ホームページはこちらから

「青田に映える おらほのヒスター 星伏古戦場跡公園」© 2023 Oshu City

奥州市総合水沢病院 医療連携室

〒023-0053

岩手県奥州市水沢大手町三丁目1番地

電話 0197-25-3833（内線257）

FAX 0197-25-4012（医療連携室直通）

ホームページ <http://www.mizhsp-iwate.jp>

【おねがい】

○医療機関からご紹介いただく場合は、FAXによる診療申込をお勧めしております。

○当日ご紹介の際は、直接診療科の医師へご一報ください。

患者様がスムーズに診察を受けていただくため、ご協力をおねがいたします。